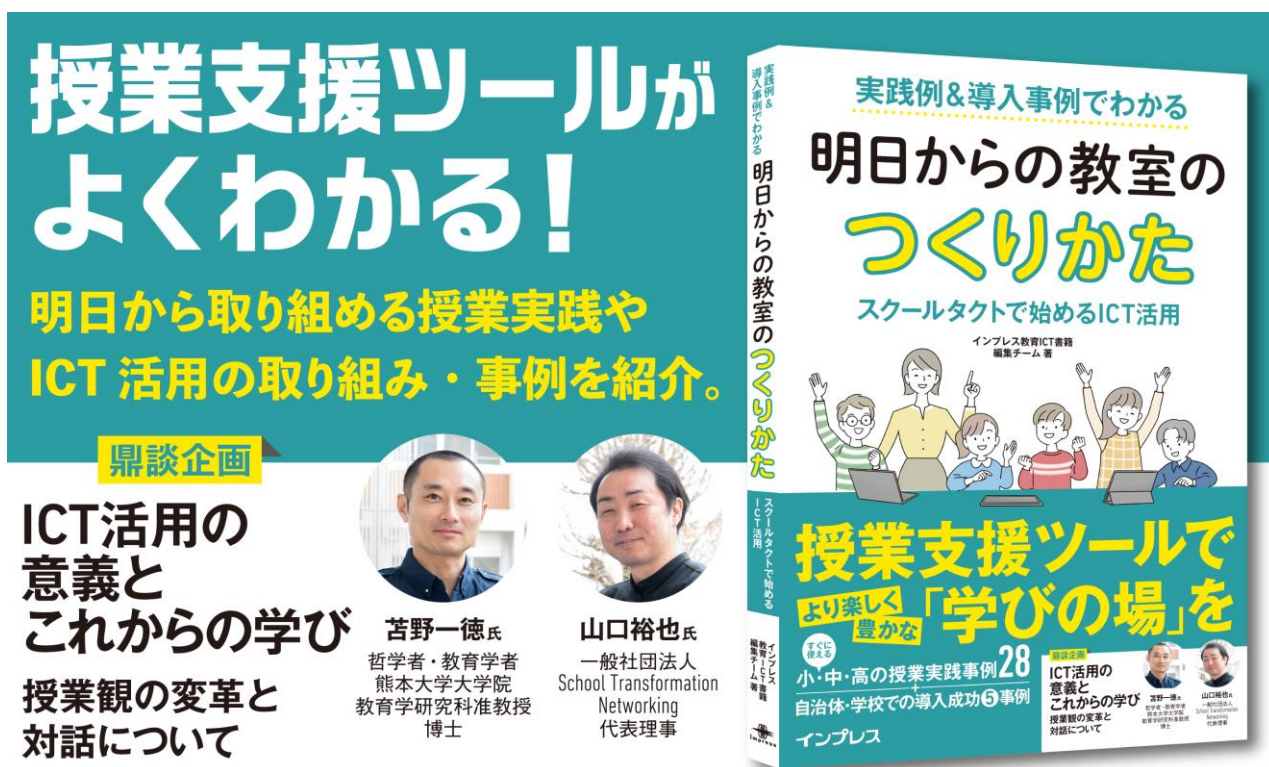


各 位

2023年7月5日
株式会社インプレス

授業や学校づくりの事例を凝縮！
『実践例&導入事例でわかる 明日からの教室のつくりかた
スクールタクトで始める ICT 活用』を7月5日（水）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、授業支援クラウド「スクールタクト」を活用した授業・学校づくりの実践例と事例をまとめた書籍『実践例&導入事例でわかる 明日からの教室のつくりかた スクールタクトで始める ICT活用』を2023年7月5日（水）に発売いたします。



授業支援ツールがよくわかる！
明日から取り組める授業実践や
ICT 活用の取り組み・事例を紹介。

鼎談企画

ICT活用の意義とこれからの学び
授業観の変革と対話について

苦野一徳氏
哲学者・教育学者
熊本大学大学院
教育学研究科准教授
博士

山口裕也氏
一般社団法人
School Transformation
Networking
代表理事

明日からの教室のつくりかた
実践例&導入事例でわかる
スクールタクトで始めるICT活用
インプレス教育ICT書籍
編集チーム 著

**授業支援ツールで
よ楽に「学びの場」を
豊かに**
まぐじ
小・中・高の授業実践事例 28
自治体・学校での導入成功事例
インプレス

ICT活用の意義とこれからの学び
授業観の変革と対話について
苦野一徳氏
山口裕也氏

■本書の発刊について

コロナ禍によって、急速に1人1台端末が普及しました。しかし、ICT教育の実践が進んでいない地域や学校が数多くあるのも事実です。「何のためにやるのか」「多忙でそこまで手が回らない」という現場もあります。本書は、現場の先生たちのICT実践を広く共有し、その方法論と思いを届けることで、ICT活用が「なくてはならないもの」から「自ら積極的に取り組み、子供たちと共に広げていくもの」へと深化させたいと考えています。

■ICT導入の肝となる「授業支援ツール」の実践例を紹介

ICT導入の肝となる「授業支援ツール」を利用した実践事例を紹介します。校種や教科を問わずに使える汎用性の高い事例を28点掲載しているので、授業への取り入れ方や授業支援ツールの利用方法がよくわかります。

事例
4

個別最適な学び

自分なりのカタチを試行錯誤

かたち作り

算数

問題解決

整理・分析

ムーブパーツ

やってみよう!

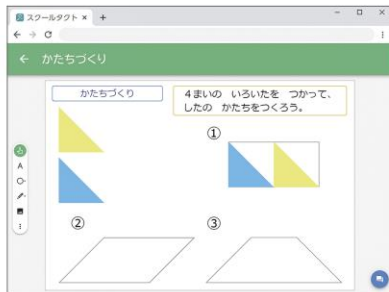
指先で動かして、図形を作り上げる

STEP
1

先生が、キャンパス画面上に描いた三角形をムーブパーツ(詳細・P.152)に設定し、児童生徒に配布します。

STEP
2

児童生徒はムーブパーツを動かしながら、図形を作り上げます。画像1



画像1 ムーブパーツを動かしたり、回転させたりすることで、画面上にさまざまな図形を作成できる

STEP
3

共同閲覧モード(詳細・P.152)にして、児童生徒が作った図形の工夫点をお互いに見つけます。画像2

動かしたり、回したりするのが簡単! 友達を見て「そういうやり方もあるんだ!」って気付きました。



画像2 同じ三角形を組み合わせて作られたさまざまな図形から、ほかの児童生徒が工夫した点を見つける

こんな使い方もできる

ムーブパーツでは、図形やテキストなどに拡大・縮小・回転の権限を付与できるので、都道府県パズルやテキストをはめこむ穴埋め問題などを作ることができます。心臓の器官と名称を結び付ける理科の課題(画像左)や、学級活動でのグリーンカード作り(画像右)などでもムーブパーツが活用できます。



この課題テンプレートを使う

全学年・算数・全て・かたちづくり

検索

■自治体や学校・教育委員会の先進事例を紹介

先進的にICT活用推進を行う5つの自治体・学校・教育委員会の取り組みを紹介。関係者への取材をもとに、ICTの環境整備や利活用施策を進める工夫・ポイントのほか、児童生徒・教員の変化など、児童生徒の学びを広げる具体的な事例を掲載。ICT活用推進における成功の秘訣がわかります。

自治体や学校での 導入・実践事例集

「岡崎版GIGAスクール構想」
における「学び方改革」で
個別最適化学習と
チーム学習を実現

愛知県岡崎市

74



推進リーダー育成と
ボトムアップの両輪で
活用を推進

教員同士の会話の中で
ICT活用のきっかけを生み出す

埼玉県上尾市

96



Column 「令和の日本型学校教育」の実現に向けて

89

Column 情報モラルからデジタル・シティズンシップへ

102



先生の実現したい授業に
寄り添う「GIGAサポーター」
充実したテンプレートを使って
シンプルな活用からスタート

長野県伊那市

90



区内の小中学校88校で
ICT活用を推進する秘けつとは
管理職への働きかけと情報共有がポイント

大田区教育委員会

104

教科を超えた教員チームで
学校全体の取り組みへ

ICT活用で主体的・協動的な学びの
授業改善を目指す

さいたま市立浦和南高等学校

111



■これから目指すべき教育について有識者の提言を紹介

ICT活用の先にある、これから目指すべき教育の姿について、有識者や現場の教員の声を座談会形式で掲載しました。これからの学校のあり方、子どもたちの学び方、教員の役割や求められていることなど、ICT活用において大切なことや学びを変えるために何が必要か、多角的な視点で探ります。

主体的で対話的な学びは なぜ必要か

—未来の学校に向けた座談会— 117

鼎談1

何のためのICT活用なのか、
目指す教育は何か

主体的な学びをつくるために、
学校や教員に求められている変化

118



苫野一徳氏

後藤正樹氏

山口裕也氏

鼎談2

教育者3名が語る
ICTとつくる明日からの教室
個別最適な学びを実現する、
これからの教育に必要なこと

137



有賀祥子氏



荻手章吾氏



鳥生浩紀氏

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ 授業支援ツールの役割や利用方法を知りたい方
- ・ ICTを効果的に活用した授業改善のポイントを知りたい方
- ・ ICTを活用した授業の実践事例を学びたい方
- ・ 全国の教職員、および教育委員会などの学校関係者

■本書の構成

はじめに：1人1台端末で変わる教育、学びをより充実させるために
本書のご利用に際して
プロローグ 第1章をお読みになる方へ

第1章 小学校・中学校・高校の授業ですぐに使える実践事例

第2章 自治体や学校での導入・実践事例集

- ・ 愛知県岡崎市の事例
- ・ 長野県伊那市の事例
- ・ 埼玉県上尾市の事例
- ・ 大田区教育委員会の事例
- ・ さいたま市立浦和南高等学校の事例

第3章 主体的で対話的な学びはなぜ必要か -未来の学校に向けた座談会-

付録 スクールタクトの代表的な機能紹介

おわりに：明日の教室を変える先生を応援したい

■書誌情報



書名：実践例&導入事例でわかる 明日からの教室のつくりかた
スクールタクトで始めるICT活用
著者：インプレス教育ICT書籍編集チーム
発売日：2023年7月5日（水）
ページ数：160ページ
サイズ：A5正寸判
定価：1,848円（本体1,680円＋税10%）
電子版価格：1,848円（本体1,680円＋税10%）※インプレス直販価格
ISBN：978-4-295-01682-3

◇Amazonの書籍情報ページ

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295016829>

◇インプレスの書籍情報ページ

<https://book.impress.co.jp/books/1123101015>

■著者プロフィール

インプレス教育ICT書籍編集チーム

教育とICTがどうあるべきかを考え、多くの教員から意見や考えをヒアリングしている。また、ICTを導入する学校に取材を多数行い、ICTを活用するためのツールや授業における実践事例を独自に分析。小学校・中学校・高校におけるICTの実践を数多く記録し、ICTの可能性を日々考察している。

■スクールタクトについて

「スクールタクト」は、データとAIを活用し主体的・対話的で深い学びを円滑に実現する授業支援クラウドとして、児童生徒・先生両者にとって「学校の時間」をより楽しく豊かなものにするサービスです。さまざまな分析機能や教育に対する知見豊かなスタッフによるサポートで、児童生徒の自ら学び続ける力につながる成長を促すことと、先生が児童生徒に向き合える楽しくやりがいのある時間を増やすことに貢献しています。文部科学省、総務省、内閣府などが主管するさまざまなICT教育の実証事業に採択されており、国公私立問わず2,000校を超える小学校・中学校・高校・大学、学習塾および教育委員会に導入されています。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。